

2020年9月23日(水)

CSF ワクチン接種に伴う種豚緊急アンケート集計結果について

<調査の目的>

福島県、山形県、宮城県における CSF ワクチン接種に伴い、JPPA では種豚生産者（個人生産者、法人生産者、ハイブリッド生産企業など）に対し、アンケート調査を行った。

これは、種豚生産農場が多い東北地方において CSF ワクチン接種を実施することによって、種豚流通、ひいては肉豚の生産にどのような影響があるかを調査するためである。

<調査の対象>

アンケートは、東北地方の種豚生産者を中心として、育種・改良部会、国産純粋種豚改良協議会、各県試験場など、種豚生産に関わる生産者、団体など 62 件に対して実施した。

<調査の概要>

配布数 62 件

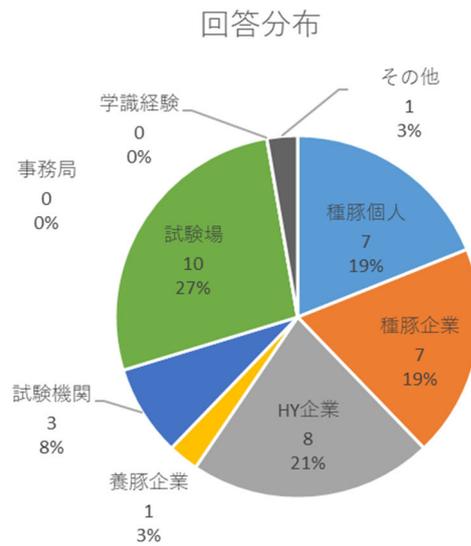
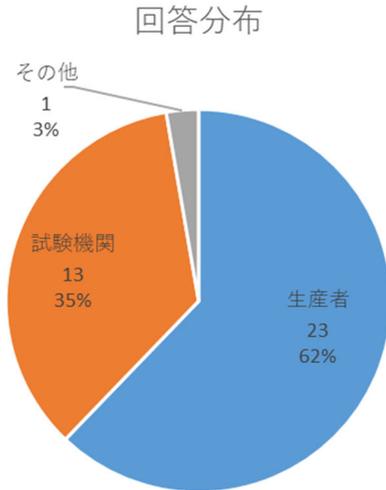
回答数 37 件

- ・回答施設からの総出荷精液ドーズ数：1,990,520 ドーズ（最大：533,000 ドーズ）
- ・CSF ワクチンによる影響があると回答した施設からの出荷ドーズ数：1,048,150 ドーズ
- ・回答施設からの総出荷母豚数：94,387 頭（最大：23,000 頭）
- ・CSF ワクチンによる影響があると回答した施設からの出荷母豚数：94,070 頭
- ・回答施設からの総出荷雄豚数：3,807 頭（最大：1,000 頭）
- ・CSF ワクチンによる影響があると回答した施設からの出荷母豚数：2,430 頭

<調査結果>

○回答分布

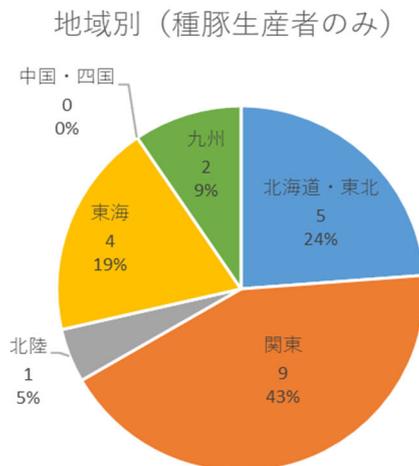
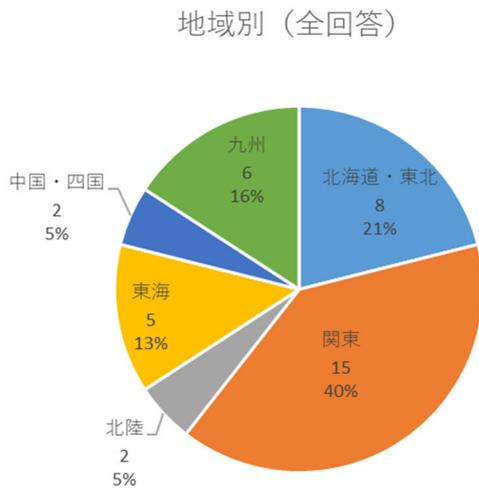
回答は、種豚生産者が 62%、試験機関が 35%、その他が 1%だった。



種豚個人:個人種豚場、種豚企業:法人純粋種豚場、HY企業:ハイブリッド種豚場、
養豚企業:法人肉豚生産者、試験機関:改良センター、試験場:県試験場

○地域

回答者の分布は、全回答でも種豚生産者でも比率に大きな差はなく、北海道・東北と関東で 60%強の回答を得ている。

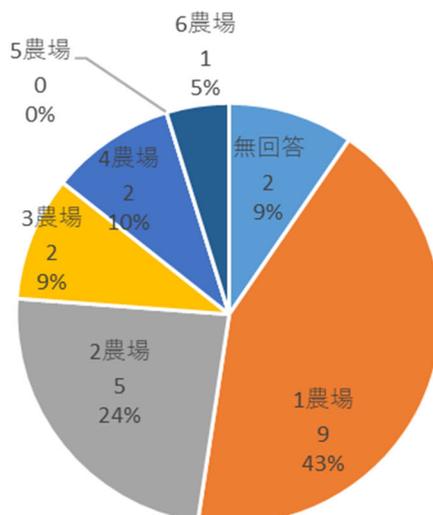


○種豚生産農場、AI センター数

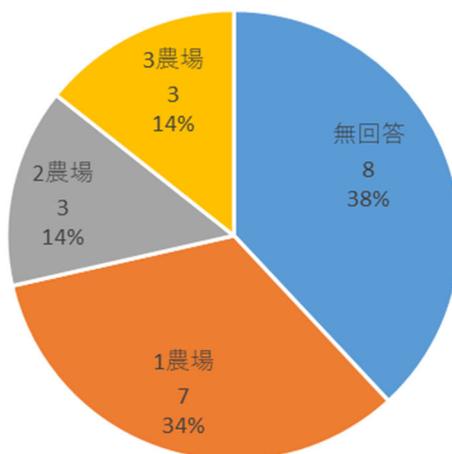
1 経営体を持つ種豚生産農場・AI センターの数について、農場数では1農場との回答が最も多く、最大で6農場所持しているとの回答を得た。農場の所在地は、岩手県が最も多く7農場、静岡県・宮城県が3農場、秋田県・青森県・福島県が2農場、新潟県・秋田県・熊本県・千葉県・富山県・鹿児島県・岡山県・栃木県・群馬県が各1農場だった。

AI センターについては、無回答が最も多かったが、所持数では1農場が最も多かった。AI センターの所在地は、岩手県が最も多く6農場、宮城県が3農場、千葉県・静岡県が2農場、新潟県・岡山県・熊本県・秋田県・富山県・鹿児島県・宮崎県・山口県・岡山県・青森県が各1農場だった。

所持種豚生産農場数（種豚生産者のみ）



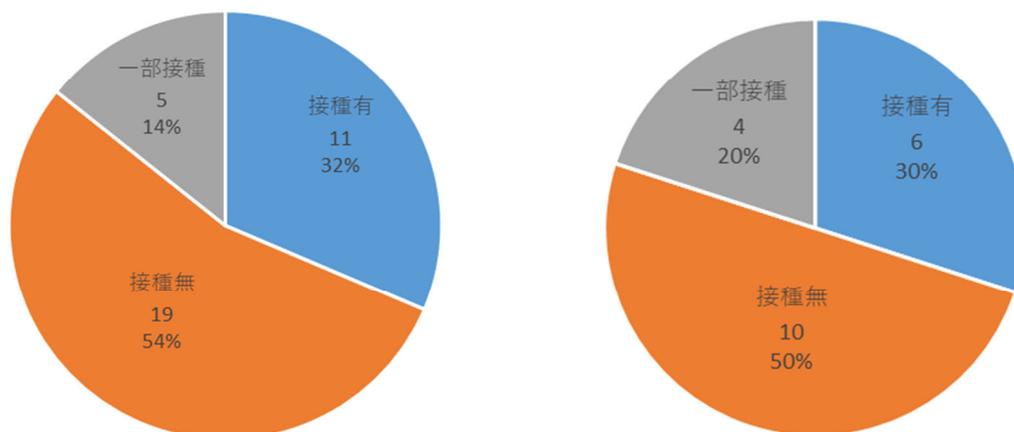
所持AIセンター数（種豚生産者のみ）



○ワクチン接種の有無

ワクチンについては、約半数の生産者で接種済み。一部接種を合わせると、約70%が何らかの形で接種している。

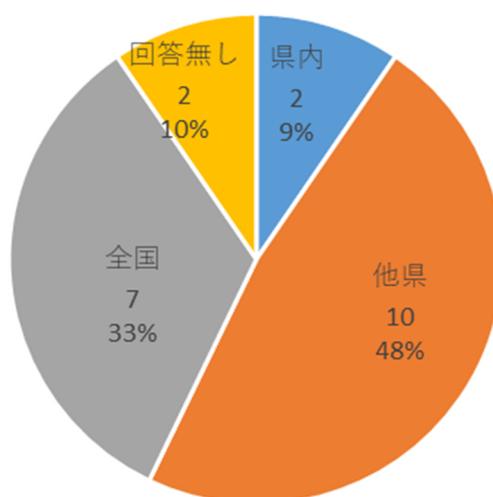
ワクチン接種の有無（全回答者） ワクチン接種の有無（生産者のみ）



○種豚・精液の供給地域

種豚・精液の供給については、他県に販売している生産者が48%、全国に販売しているが33%で、約80%が県を超えて種豚・精液を販売している。全国以外では、46県とほぼ全国に販売している生産者もあった。

種豚・精液の販売範囲

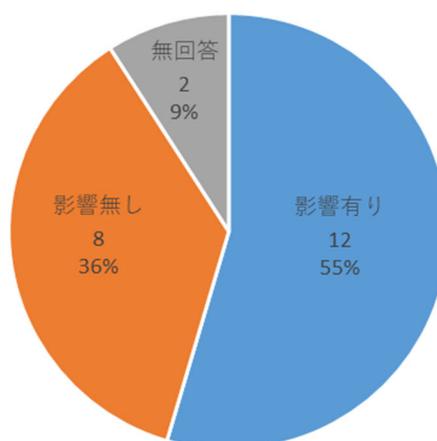


○ワクチン接種による影響

ワクチン接種による影響の可否については、影響有りとした生産者が約半数の55%、ワクチンを接種している生産者では約70%となった。

ワクチンの影響については、①非接種地域への供給ができなくなった、②輸送コスト増、③農場新設 などの影響が回答された。

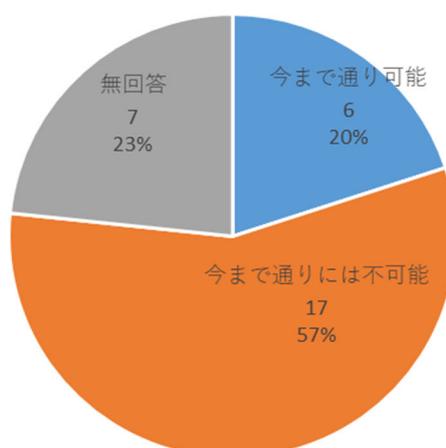
ワクチン接種による影響の有無（生産者のみ）



○ワクチン接種による供給の可否

ワクチン接種によって、今まで通りに種豚・精液を供給できるかとの問いには、約6割の生産者が不可能と回答した。可能である理由としては、①県内のみ供給、②非接種地域に種豚場がある、などの回答があった。

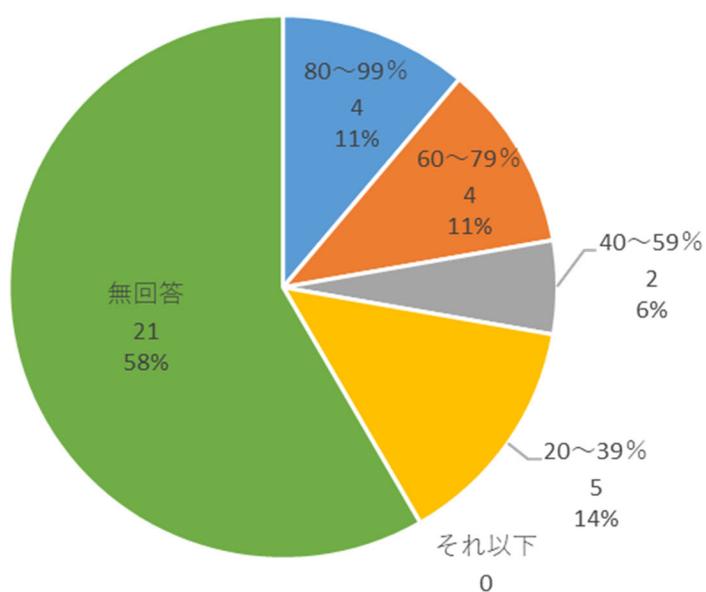
ワクチン接種時の種豚供給の可否（生産者のみ）



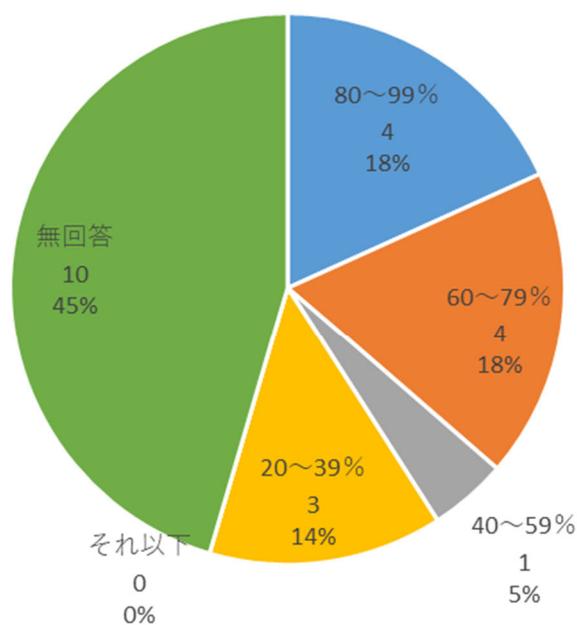
○CSF ワクチン接種の影響の割合

CSF ワクチン接種の影響については無回答が多かったが、回答があったなかでは、生産者で 20%以下の影響と答えた回答者はいなかった。60～79%、80～99%を合わせて約 36%となり、平均すると約 60%以上の影響があると考えられる。

接種時の影響の割合（全回答）



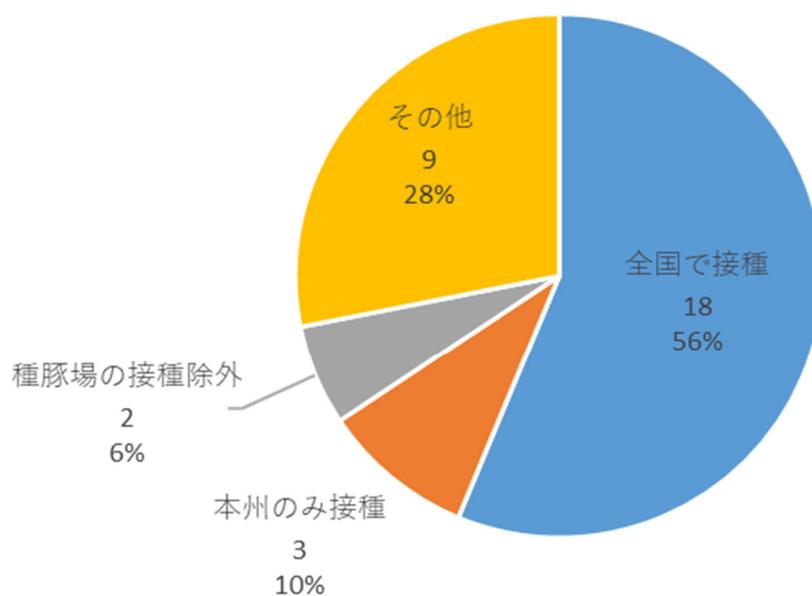
接種時の影響の割合（生産者のみ）



○今後の対応に希望すること

今後については、全国接種を望む声が、全回答で56%、生産者のみで80%と最も多かった。その他としては、マーカーワクチンの接種による識別を求める声が多くみられた。

今後の対応に希望すること（全回答）



今後の対応に希望すること（生産者のみ）

